

**数理・
データサイエンス・
AI教育の紹介**

**令和6年度 数理・データサイエンス・AI教育プログラム
「(リテラシーレベル)プラス」「(応用基礎レベル)プラス」
選定校における教育実践取組みの紹介(その8)**

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度は、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、それを適切に理解し活用する基礎的な能力(リテラシーレベル)や、課題を解決するための実践的な能力(応用基礎レベル)を育成するため、体系的な教育を行う大学等の正規の課程(教育プログラム)を文部科学大臣が認定及び選定して奨励するものです。

大学・短期大学・高等専門学校を対象に公募が行われ、数理・データサイエンス・AI教育プログラム「(リテラシーレベル)」では、令和3年度に78件が認定され、その内、特に先導的で独自の工夫・特色を有するとして7件が「(リテラシーレベル)プラス」に選定されています。令和4年度は「(リテラシーレベル)」に139件が認定され、その内7件が「(リテラシーレベル)プラス」に、「(応用基礎レベル)」では68件が認定され、その内9件が「(応用基礎レベル)プラス」に選定されています。令和5年度は165件が認定され、その内7件が「(リテラシーレベル)プラス」に、「(応用基礎レベル)」では83件が認定され、その内7件が「(応用基礎レベル)プラス」に選定されています。令和6年度は112件が認定され、その内6件が「(リテラシーレベル)プラス」に、「(応用基礎レベル)」では100件が認定され、その内6件が「(応用基礎レベル)プラス」に選定されています。

これにより、令和6年度時点での認定状況は、リテラシーレベルで国立大学84%、公立大学33%、私立大学48%、短期大学15%、高等専門学校98%となっています。応用基礎レベルで国立大学67%、公立大学15%、私立大学14%、短期大学0.7%、高等専門学校21%となっています。

以下に「認定教育プログラム(リテラシーレベル)」、「認定教育プログラム(リテラシーレベル)プラス」の要件を掲載します。

認定教育プログラム (MDASH*-Literacy)の認定要件

(「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度 (リテラシーレベル) 概要」より転載)
*Approved Program for Mathematics, Data science and AI Smart Higher Education

- ・ 大学、短期大学、高等専門学校の正規の課程
- ・ 学生に広く実施される教育プログラム (全学開講)
- ・ 具体的な計画の策定、公表
- ・ 学生の関心を高め、かつ、必要な知識及び技術を体系的に修得(モデルカリキュラム参照)
- ・ 学生に対し履修を促す取組の実施
- ・ 自己点検・評価(履修率・学修成果、進路等)の実施、公表
- ・ 当該教育プログラムを実施した実績のあること

プラス選定要件：大学等の特性に応じた特色ある取組が実施されていること

認定教育プログラム プラス ((MDASH-Literacy+)の認定手続き等

(「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度 (リテラシーレベル) 概要」より転載)

- **認定手続き等**
 - ・ 審査は外部有識者(内閣府・文部科学省・経済産業省が協力して選定)により構成される審査委員会において実施
 - ・ 審査の結果を踏まえ、文部科学大臣が認定・選定
 - ・ 取組の横展開を促進するため、3府省が連携して認定・選定された教育プログラムを積極的に広報・普及
- **スケジュール**
 - 3月：公募開始 5月：申請受付締切 7～8月：認定・選定結果の公表